



令和3年4月30日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

5月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

きたえ合う子

日々の育ち

学校長 大竹 貴子

新緑の香りがすがすがしい季節となりました。

入学したときは、心配げな顔をしていた1年生の子どもたちもすっかり教室に慣れ、校庭で思いきり遊んだり学校をたんけんしたりするようになりました。最近、給食後に飲み終わった牛乳のパックを開ける練習も始め、悪戦苦闘しながらもがんばっています。

先日、自治会長さんからとてもうれしい電話をいただきました。それはこんなお話です。6年生の子どもたちが、公園に置いてあったごみを拾い片付けました。その後、自治会長さんの家を訪ねましたが不在だったため、隣の家の方にごみを拾ったことを話して帰りました。会長さんは6年生の姿に感心し、「とても良いことなのでぜひ褒めてほしい」とお話してくださいました。それを聞いた私は、次の日の朝、その6年生に尋ねました。すると、4人で公園のごみを片付けた後、「ごみを散らかさないよう呼びかけてほしい」とお願いをしにいったそうです。不在だったため交番に行っておまわりさんに頼んだとのことでした。自分たちが遊ぶ公園をきれいにしたいという想いを行動で表した6年生に私も感心しました。



早速、このことを朝会で紹介しました。すると、放課後、もっと多くの6年生がごみを拾い、学校に持ってきました。良いことは進んでしようとする素晴らしい6年生です。一方、担任からは、ごみを素手で拾うことの危険性やごみの分別の課題について指導がありました。確かに、誰が飲んだか分からない中身の残っている缶を拾うことや分別することは、コロナ禍の中では危ないことです。しかし、自分たちのまちをきれいにしたいという想いは大切にしたいものです。さあ、どうしたらよいか、ぜひ、調べたりまちの方々に関わったりして課題を乗り越え、自分たちの想いを何らかの形にしてほしいと思います。

昨年度の秋に、正門の脇に植えたバラ「はまみらい」が、たくさんの花を咲かせはじめました。



この花は、横浜開港150周年の時につくられた横浜のバラです。この花を見て、横浜を愛し心豊かな人に育ててほしいという想いから、各学校に配られました。この瀬谷を、この横浜の未来を担う子どもたちも、このバラのように明るく大きく育ててほしいです。